

欧州委員会、「2014年EU産業研究開発投資スコアボード」を公表

2014年12月9日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会は、12月4日、世界の2,500社の研究開発投資の状況を分析した「2014年EU産業研究開発投資スコアボード」を公表した。

分析対象企業には、EU企業633社、米国企業804社及び日本企業387社のほか、中国企業199社、台湾企業104社、韓国企業80社及びスイス企業62社も含まれている。2013年の研究開発費の合計を地域別に見ると、EU企業は1,624億ユーロ（前年比2.6%増）、米国企業は1,937億ユーロ（前年比5.0%増）、日本企業は856億ユーロ（前年比5.5%増）となっている。

今年のスコアボードでは初めて、研究開発費に対する特許出願件数の分析（2010~2012年）が行われた。以下のグラフに示されるように、ハードウェア・機器分野ではキヤノンが、自動車分野ではトヨタ自動車、本田技研工業、デンソーの各社が、多くの特許出願を行っていることが明らかにされている。

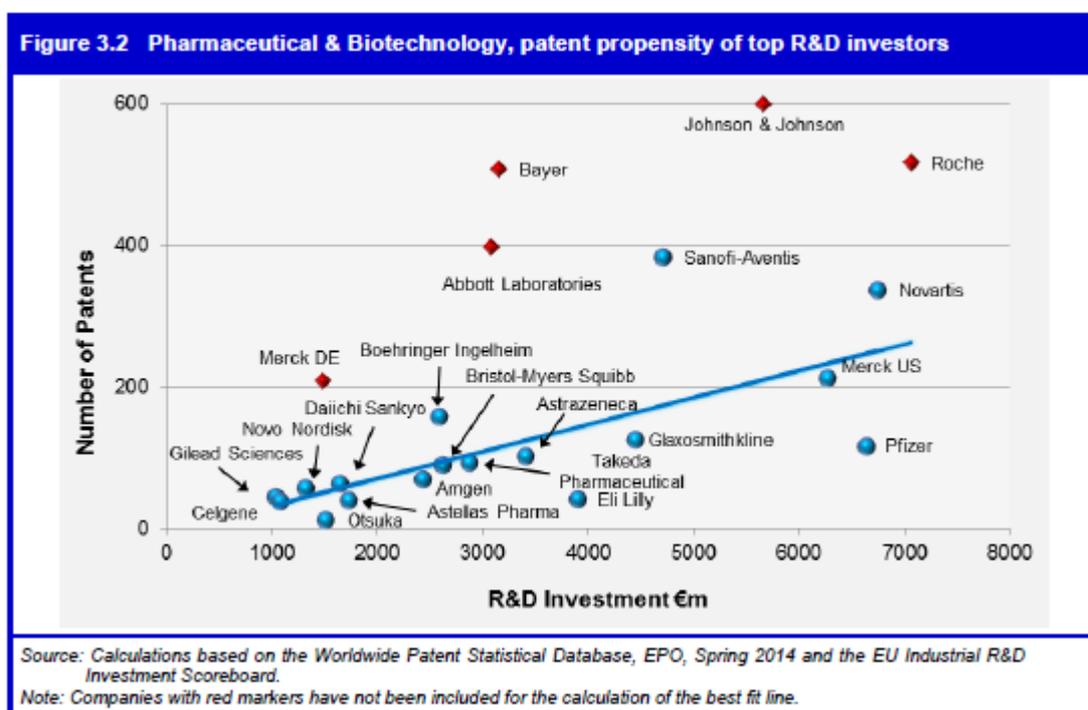
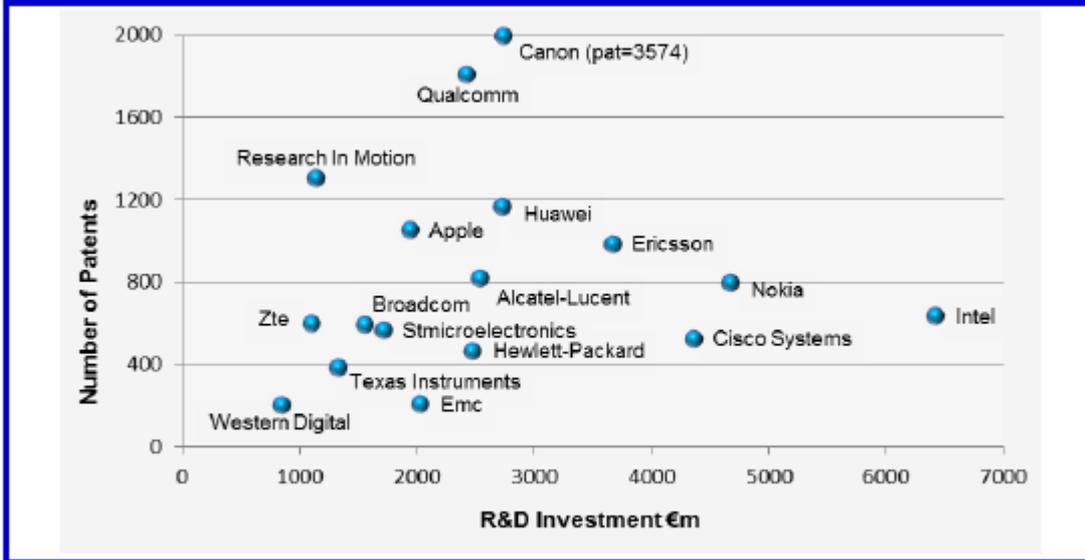
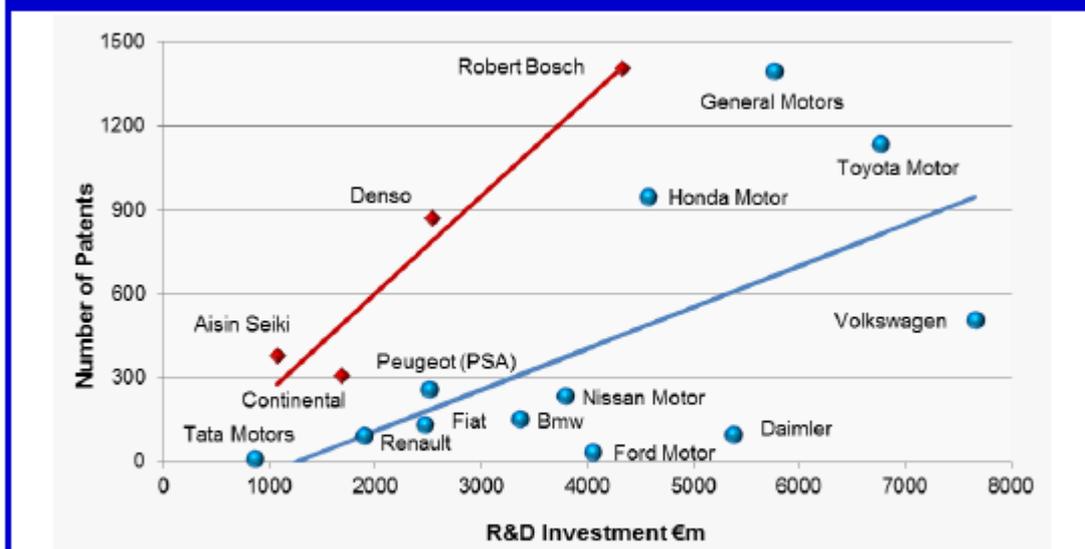


Figure 3.3 Technology Hardware & Equipment, patent propensity of top R&D investors



Source: Calculations based on the Worldwide Patent Statistical Database, EPO, Spring 2014 and the EU Industrial R&D Investment Scoreboard.
 Note: Given the high variety of technological specialization, the best fit line is not included.

Figure 3.4 Automobiles & Parts, patent propensity of top R&D investors



Source: Calculations based on the Worldwide Patent Statistical Database, EPO, Spring 2014 and the EU Industrial R&D Investment Scoreboard.

— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[EU companies must boost R&D investment to stay globally competitive](#)

— 報告書の本文は、以下参照 —

[The 2014 EU Industrial R&D Investment Scoreboard](#)

(以上)